

TRANSLATION OF THE CLAIM (ONLY ONE CLAIM) OF REFERENCE 3

What Is Claimed Is:

A milk coffee gum structure in which powdered milk or powdered cream is layered between chewing gum layers comprised of powdered coffee gum by tablet compression.



(1,500円)

實用新案登録願

昭和 44 年 6 月 9 日

特許庁長官 佐々木 学 殿

1. 考案の名称

ミルタ コーヒーガムの構造

2. 考案者

住所(居所) 神奈川県川崎市豊戸 3 丁目 5 番地

氏名 手塚七五郎

(国籍)

(ほか 1 名)

3. 実用新案登録出願人

住所(居所) 東京都新宿区百人町 3 の 270

氏名(名称) 株式会社

(国籍)

代表者 重光武雄

4. 代理人

郵便番号 107
住所 東京都港区北青山 2 丁目 7 番 18 号 真砂ビルディング
電話 東京 (404) 5768 番 (代表)

氏名 (6401) 弁護士 浜田 治

5. 添付書類の目録

(1) 明細書

1 通

(2) 図面

1 通

(3) 願書副本

1 通

(4) 委任状

1 通



46-048636

方式
審査

48-6382-0/16-6302-67

明 細 書

1. 考案の名称

ミルク コーヒーガムの構造

2. 実用新案登録請求の範囲

粉末コーヒーガムからなるチューインガム層間に粉末ミルクまたは粉末クリームを層状に打錠成形してなるミルク コーヒーガムの構造。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、粉末コーヒーガムと粉末ミルクまたは粉末クリームとを層状に打錠成形したミルク入りコーヒーチューインガムの構造に関するものである。

チューインガムベースに公知のチューインガム添加剤と共にコーヒー香味料を添加したコーヒーチューインガムが知られているが、所謂ブラックコーヒーの風味で、ミルクまたはクリーム入りコーヒーのまろやかな風味を味わうことができなかった。

そこで、このようなコーヒーチューインガム

にミルクまたはクリームを混入して苦みを和らげることが考えられるが、処理温度条件やガムペースとの混合性の問題、また、ミルク類を添加することにより吸湿性を高め、ミルク類の変質が著しく、チューインガムの保存性を悪化する欠点があり、所期の目的を達成することができなかつた。

考案者等は、鋭意研究の結果、コーヒー存在ガム成分とミルクまたはクリーム成分とを独立した層として積層することにより、これを咀嚼する際、口中でコーヒー存在ガム成分とミルクまたはクリーム成分とが嚙砕され、まろやかなミルク コーヒーの風味を口中に放出させることを確めた。

従つて、本考案の一般的な目的は、粉末コーヒーガムと粉末ミルクまたは粉末クリームを層状に重ねて圧縮打錠成形してなるミルク コーヒーガムを提供するにある。

すなわち、本考案の主たる目的は、粉末コーヒーガムからなるチューインガム層間に粉末ミ

ルクまたは粉末クリームを層状に打錠成形してなるミルク コーヒーガムの製造を提供するにある。

次に、本考案に係るミルク コーヒーガムにつき添付図面を参照しながら以下詳細に説明すれば、粉末コーヒーガム層ノに粉末ミルク層ヲを重ね、さらに粉末コーヒーガム層ノを重ねて構成する。

なお、本考案で使用する粉末コーヒーガムは、粉末ガムに通常のコーヒー粉末香味料を均質に混合したものである。

本考案に係るミルク コーヒーガムは、3層打錠機の成形容器に粉末コーヒーガム、粉末ミルクおよび粉末コーヒーガムを順次足量づつ投入し、これを打錠成形することにより容易に製造することができる。

また、第2図に示すように、粉末ミルク層ヲを粉末コーヒーガム層ノで完全に被包する構成とすることもできる。

この場合、前記製造方法において、粉末ミ

タの投入を打錠成形容器の中央部に集中させる
ことにより容易に達成することができる。

本考案に係るチューインガムは、噛み砕くと
同時に中間層の粉末ミルクが口中に広がり、次
層にコーヒーガムの香味と融和して、コーヒー
ガム単独では得られない特異なしかも芳醇な味
覚を味わうことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本考案に係るミルク コーヒー
ガムの断面図、第2図は、第1図に示すミルク
コーヒーガムの変形例の断面図である。

1..... 粉末コーヒーガム

2..... 粉末ミルク

実用新案登録出願人 株式会社 ロ ッ テ

出願人代理人 弁護士 浜田 浩 雄

FIG.1

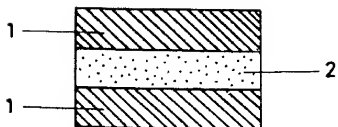
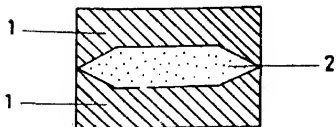


FIG.2



実用新案登録出願人 株式会社 ロッテ

出願人代理人 弁護士 浜田 治雄

48-6382-06

~~48-6382-06~~

6 前記以外〇考案者

住 所 千葉県^{ノリシノキ}野田^{ノキ}市野田^{ノキ}300番地

氏 名 瀬^セ 能^ノ 忠^チ

48-6382-07
48-6382-07

FIG.1

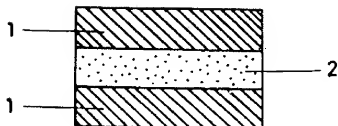
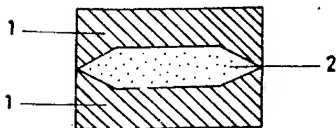


FIG.2



In Figs. 1 and 2, 1 denotes powdered coffee gum, and 2 denotes powdered milk

実用新案登録出願人 株式会社 ロッテ

出願人代理人 弁護士 浜田 治 雄

48-6382-06

48-6382-06